

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-543806(P2009-543806A)
 【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)
 【年通号数】公開・登録公報2009-049
 【出願番号】特願2009-519695(P2009-519695)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/70 (2006.01)
 C 0 7 K 14/005 (2006.01)
 A 6 1 K 49/00 (2006.01)
 A 6 1 K 51/00 (2006.01)
 A 6 1 K 49/04 (2006.01)
 A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 G 0 1 N 33/15 (2006.01)
 G 0 1 N 33/50 (2006.01)
 G 0 1 N 33/574 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 C 0 7 K 7/06 (2006.01)
 C 0 7 K 7/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 37/02	Z N A
C 1 2 Q 1/02	
C 1 2 Q 1/70	
C 0 7 K 14/005	
A 6 1 K 49/00	C
A 6 1 K 49/02	A
A 6 1 K 49/04	A
A 6 1 K 48/00	
A 6 1 K 49/00	A
A 6 1 K 45/00	
G 0 1 N 33/53	D
G 0 1 N 33/15	Z
G 0 1 N 33/50	Z
G 0 1 N 33/574	A
A 6 1 P 35/00	
C 0 7 K 7/06	
C 0 7 K 7/08	

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月22日(2010.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を処置するための組成物であって、配列番号 1 を含む、組成物。

【請求項 2】

前記対象が癌を有する、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記組成物が部分を更に含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記部分が、治療成分、診断薬又はナノ粒子である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記治療成分が DNA 関連プロセスを標的とする、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記治療成分が、細胞毒性剤、アルキル化剤、抗腫瘍抗生物質、配列選択剤、血管新生阻害剤、シクロホスファミド、メルファラン、マイトマイシン C、ビゼレシン、シスプラチン、ドキソルビシン、エトポシド、ミトキサントロン、SN - 3 8、Et - 7 4 3、アクチノマイシン D、プレオマイシン、ゲルダナマイシン、クロラムブシル、メトトレキサート及び TLK 2 8 6 からなる群より選択される、請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 7】

g C 1 q / p 3 2 受容体の存在を検出するための組成物であって、前記組成物は、L y p - 1 組成物を含み、ここで、前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 に結合した部分を含み、ここで、g C 1 q / p 3 2 受容体と前記 L y p - 1 組成物との相互作用は、前記 g C 1 q / p 3 2 受容体の存在を示す、組成物。

【請求項 8】

前記部分が、検出可能物質、ポリペプチド、核酸分子又は低分子である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記 L y p - 1 組成物がウイルスを含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記 L y p - 1 組成物がファージを含む、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記検出可能物質が、低分子、フルオロフォア、フルオレセイン、ローダミン、放射性核種、インジウム - 1 1 1、テクネチウム - 9 9、炭素 - 1 1、炭素 - 1 3 又はそれらの組合せである、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 12】

対象の細胞における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルを評価するための組成物であって、前記組成物は、配列番号 1 に結合した検出可能物質を含む L y p - 1 組成物を含み、ここで、g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する L y p - 1 組成物のレベルが、前記細胞における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルを示す、組成物。

【請求項 13】

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を同定するための組成物であって、前記組成物は、L y p - 1 組成物を含み、ここで、前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 に結合した部分を含み、ここで、g C 1 q / p 3 2 受容体と前記 L y p - 1 組成物との相互作用は、g C 1 q / p 3 2 の存在又はレベルを示し、ここで、g C 1 q / p 3 2 受容体の存在又は増加したレベルは、前記対象が g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有することを示す、組成物。

【請求項 14】

前記疾患が癌である、請求項 1 3 に記載の組成物。

【請求項 15】

前記細胞が癌細胞である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 16】

g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する化合物をスクリーニングするための組成物であって、ここで、前記組成物は、L y p - 1 組成物を含み、ここで、前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 を含み、ここで、所与量の非結合 L y p - 1 組成物が、g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する化合物を示す、組成物。

【請求項 17】

前記 L y p - 1 組成物が、配列番号 1 を含む組成物に結合した部分を更に含む、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記部分が検出可能物質を更に含む、請求項 17 に記載の組成物。

【請求項 19】

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置するための組成物であって、前記組成物は、g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する組成物を含み、これにより、g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置する、組成物。

【請求項 20】

前記 g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する前記組成物が、抗体、蛋白質又は化学物質である、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記細胞が、生物内、対象内、原位置、生体外、培養物中又は試験管内にある、請求項 12 から 20 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 22】

g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する前記組成物が、L y p - 1 を模倣する、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 23】

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する対象における疾患を処置する組成物であって、前記組成物は、g C 1 q / p 3 2 受容体の発現又は活性を調節する組成物を含み、これにより、g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する対象における疾患を処置或いは予防する、組成物。

【請求項 24】

前記疾患が癌である、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 25】

g C 1 q / p 3 2 受容体の発現又は活性が阻害される、請求項 23 に記載の組成物。

【請求項 26】

g C 1 q / p 3 2 受容体の発現が、阻害性核酸を用いて阻害される、請求項 25 に記載の組成物。

【請求項 27】

前記阻害性核酸が s i R N A である、請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 28】

g C 1 q / p 3 2 受容体の活性が、L y P - 1 ペプチド、抗体又は L y p - 1 の低分子模倣体によって阻害される、請求項 25 に記載の組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、例えば、以下を提供する：

(項目 1)

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置する方法であって、

a. g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を同定するステップと、

b . 前記対象に配列番号 1 を含む組成物を投与するステップとを含む方法。

(項目 2)

前記対象が癌を有する、項目 1 に記載の方法。

(項目 3)

前記組成物が部分 (moiety) を更に含む、項目 1 に記載の方法。

(項目 4)

前記部分 (moiety) が、治療成分、診断薬又はナノ粒子である、項目 3 に記載の方法。

(項目 5)

前記治療成分が DNA 関連プロセスを標的とする、項目 4 に記載の方法。

(項目 6)

前記治療成分が、細胞毒性剤、アルキル化剤、抗腫瘍抗生物質、配列選択剤 (sequence - selective agent)、血管新生阻害剤、シクロホスファミド、メルファラン、マイトマイシン C、ビゼレシン、シスプラチン、ドキソルビシン、エトポシド、ミトキサントロン、SN - 38、Et - 743、アクチノマイシン D、プレオマイシン、ゲルダナマイシン、クロラムブシル、メトトレキサート及び TLK 286 からなる群より選択される、項目 4 に記載の方法。

(項目 7)

g C 1 q / p 3 2 受容体の存在を検出する方法であって、

a . 細胞と L y p - 1 組成物 (前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (moiety) を含む) とを接触させるステップと、

b . g C 1 q / p 3 2 受容体と前記 L y p - 1 組成物との相互作用を検出し、これにより、g C 1 q / p 3 2 受容体の存在を検出するステップとを含む方法。

(項目 8)

前記部分 (moiety) が、検出可能物質、ポリペプチド、核酸分子又は低分子である、項目 7 に記載の方法。

(項目 9)

前記 L y p - 1 組成物がウイルスを含む、項目 7 に記載の方法。

(項目 10)

前記 L y p - 1 組成物がファージを含む、項目 7 に記載の方法。

(項目 11)

前記検出可能物質が、低分子、フルオロフォア、フルオレセイン、ローダミン、放射性核種、インジウム - 111、テクネチウム - 99、炭素 - 11、炭素 - 13 又はそれらの組合せである、項目 8 に記載の方法。

(項目 12)

g C 1 q / p 3 2 受容体と L y p - 1 組成物との相互作用を検出する方法であって、前記 L y p - 1 組成物が、配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (moiety) を含み、

a . g C 1 q / p 3 2 受容体を含む可能性について細胞を選択するステップと、

b . 前記 L y p - 1 組成物と前記細胞とを接触させるステップと、

c . g C 1 q / p 3 2 受容体と前記 L y p - 1 組成物との相互作用を検出するステップとを含む方法。

(項目 13)

前記部分 (moiety) が検出可能物質である、項目 12 に記載の方法。

(項目 14)

前記部分 (moiety) が、ポリペプチド、核酸分子、低分子、フルオロフォア、フルオレセイン、ローダミン、放射性核種、インジウム - 111、テクネチウム - 99、炭素 - 11、炭素 - 13 又はそれらの組合せである、項目 12 に記載の方法。

(項目15)

L y p - 1 組成物を g C 1 q / p 3 2 受容体に送達する方法であって、前記 L y p - 1 組成物が、配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (m o i e t y) を含み、前記 L y p - 1 組成物と細胞とを接触させ、これにより、前記 L y p - 1 組成物を g C 1 q / p 3 2 受容体に送達するステップを含む方法。

(項目16)

前記細胞が対象内にあり、前記細胞が、前記対象の別の細胞における g C 1 q / p 3 2 受容体の存在を検出することにより、g C 1 q / p 3 2 受容体を含む可能性について選択される、項目 1 5 に記載の方法。

(項目17)

L y p - 1 組成物を g C 1 q / p 3 2 受容体に送達する方法であって、前記 L y p - 1 組成物が、配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (m o i e t y) を含み、
a . g C 1 q / p 3 2 受容体を含む可能性について細胞を選択するステップと、
b . 前記 L y p - 1 組成物と前記細胞とを接触させ、これにより、前記 L y p - 1 組成物を g C 1 q / p 3 2 受容体に送達するステップと
を含む方法。

(項目18)

対象の細胞における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルを評価する方法であって、
a . 前記対象の細胞と、配列番号 1 を含む組成物に結合した検出可能物質を含む L y p - 1 組成物とを接触させるステップと、
b . g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する L y p - 1 組成物のレベルを検出し、これにより、前記細胞における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルを評価するステップと
を含む方法。

(項目19)

前記対象における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルが、同一対象における過去の測定値と比較される、項目 1 8 に記載の方法。

(項目20)

前記対象における g C 1 q / p 3 2 受容体レベルが、対照レベル又は標準レベルと比較される、項目 1 8 に記載の方法。

(項目21)

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を同定する方法であって
a . 前記対象の細胞と L y p - 1 組成物 (前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (m o i e t y) を含む) とを接触させるステップと、
b . g C 1 q / p 3 2 受容体と前記 L y p - 1 組成物との相互作用を検出し、これにより、g C 1 q / p 3 2 の存在又はレベルを検出し、g C 1 q / p 3 2 受容体の存在又はレベルにより、前記対象が g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有すると確認するステップと
を含む方法。

(項目22)

前記疾患が癌である、項目 2 1 に記載の方法。

(項目23)

前記細胞が癌細胞である、項目 2 1 に記載の方法。

(項目24)

g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する化合物をスクリーニングする方法であって、
a . 被験化合物、L y p - 1 組成物 (前記 L y p - 1 組成物は配列番号 1 を含む) 及び g C 1 q / p 3 2 受容体を接触させるステップと、
b . 非結合 L y p - 1 組成物を検出し、所与量の非結合 L y p - 1 組成物が、g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する化合物を示すステップと
を含む方法。

(項目25)

前記 L y p - 1 組成物が、配列番号 1 を含む組成物に結合した部分 (m o i e t y) を更に含む、項目 2 4 に記載の方法。

(項目 2 6)

前記部分 (m o i e t y) が検出可能物質を更に含む、項目 2 5 に記載の方法。

(項目 2 7)

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置する方法であって、

a . g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を同定するステップと、

b . 前記対象に g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する組成物を投与し、これにより、g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置するステップと

を含む方法。

(項目 2 8)

前記組成物が、抗体、蛋白質又は化学物質である、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 2 9)

前記細胞が、生物内、対象内、原位置、生体外、培養物中又は試験管内にある、項目 1 2 から 2 8 のいずれか一項に記載の方法。

(項目 3 0)

g C 1 q / p 3 2 受容体と相互作用する前記組成物が、L y p - 1 を模倣する、項目 2 7 に記載の方法。

(項目 3 1)

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する対象における疾患を処置する方法であって、g C 1 q / p 3 2 受容体の発現又は活性を調節する組成物を前記対象に投与し、これにより、g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する対象における疾患を処置或いは予防するステップを含む方法。

(項目 3 2)

前記疾患が癌である、項目 3 1 に記載の方法。

(項目 3 3)

g C 1 q / p 3 2 受容体の発現又は活性が阻害される、項目 3 1 に記載の方法。

(項目 3 4)

g C 1 q / p 3 2 受容体の発現が、阻害性核酸を用いて阻害される、項目 3 3 に記載の方法。

(項目 3 5)

前記阻害性核酸が s i R N A である、項目 3 4 に記載の方法。

(項目 3 6)

g C 1 q / p 3 2 受容体の活性が、L y P - 1 ペプチド、抗体又は L y p - 1 の低分子模倣体によって阻害される、項目 3 3 に記載の方法。

g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を処置する方法が本明細書で開示され、該方法は、g C 1 q / p 3 2 受容体と関連する疾患を有する対象を同定するステップと、該対象に配列番号 1 を含む組成物を投与するステップとを含む。